



要求書を渡す村上退手共闘議長㊟

通例であれば、5年に1回の退職手当の見直しの交渉が行われる年だが、国家公務員の退職手当の水準改定が見送られたことから、19市12町退職手当共闘会議は、退職手当の水準改定の交渉ではなく、2023年4月から実施される定年年齢引き上げに伴う退職手当条例改正(2項目)に関して交渉を行った。

組合長(前稲美町長)が交渉団の責任者として同席しているが、交渉時は空席であることから事務局長を責任者として交渉を実施した。定年年齢引き上げに伴う一般職員が60歳になった日以後に非違(違法なこと)によることなく退職した者に対する退職手当の取り扱いとして、準則に基づく改正(当分の間、勤続年数を同じくする定年退職者と同様に算定、また定年の引き

19市12町退手組合交渉

定年引き上げに伴う改正を合意

フルタイム会計年度の要件も緩和

適用対象)であることから条例改正案とおり合意した。また、フルタイム会計年度任用職員等に係る勤務日数に関する要件緩和についての改正については、フルタイム会計年度任用職員等

に対する退職金の支給に關して、1カ月の勤務日数が20日に満たない日数について、18日にみなす改正についての条例改正案について合意した。

任期満了に伴う、川西市議会議員選挙が10月16日に投開票され、県本部推薦の谷正充候補は1566票を獲得したものの次点に終

川西・加東市議選結果

松本さん初当選を果たす
谷さん一步及ばず惜敗

初当選を果たした松本さん

また、10月23日投開票の加東市議会議員では、新人で立候補した自治労組織内の松本美和子候補は、子どもへの福祉充実などを訴え、女性の支持を得るなど1232票を獲得し、2位で初当選を果たした。

狭山事件の再審を求める市民集会
無罪を勝ち取るため
引き続き署名にご協力を

10万筆の署名と石川さんご夫妻

10月28日、狭山事件の再審を求める市民集会が開催された。集会は、壇上に東京高裁に11人の鑑定人の証人尋問と鑑定実施・再審開始を求める10万を超える署名が積み上げられた。

石川さんは「48年前の判決を思い出すと悔しくて眠れない。皆さんのおかげで署名もたくさん集まった。私が元気なうちに無罪を勝ち取るようご支援を」とアピールし参加者が拍手で激励した。集会後、霞ヶ関周辺をデモし支援を訴えた。狭山事件とは、1963年5月狭山市で女子高生が誘拐され、届いた脅迫状により40人の警察官が張り込む中、犯人を取り逃がし遺体を発見。警察は被差別部落に見込み捜査を集中し、証拠もないまま石川一雄さんを別件逮捕、犯人にでっち上げた。一番は死刑、二審では無期懲役が確定。現在第3次再審を請求中。

デマと偏見に溢れている
差別を許す社会は決してゆるされない

あいさつをする石本実行委員会会長

人権啓発研究第43回兵庫県集会在10月23日、県立のじぎく会館で開催された。冒頭、石本清英実行委員会会長は「今年、水平社創立100年。これまで人権への取り組みが深化してきたが、人権に対する意識調査結果を見ると自分の権利への意識が乏しい。権利を知らなければ、権利行使することもできない。人権への啓発をどのように進めていけばよいのか、一緒に考えてもらいたい」とあいさつした。

記念講演ではフリージャーナリストの安田浩一さんが外国人差別やヘイトスピーチの現場取材してきた経験をもとに「沖縄基

地問題の本質は本土にある。デマと偏見により差別が加速し、ヘイトクライムが発生している。必死にたたかっている人への醜態な笑いの根底には差別があり、今の日本は差別を許す社会

自治労兵庫本部からのお知らせ

コロナ感染「みなし入院」の取り扱い見直しについて

平素は自治労共済をはじめとした自主福祉活動へのご結集に感謝申し上げます。

さて、こくみん共済coop(全労済)では諸般の情勢を鑑み、2022年9月26日より新型コロナウイルス感染症に関する「みなし入院」の取り扱い見直しを行います。これにともない、じちろう団体生命共済の取り扱いも同様となります。

- ①65歳以上 ②入院を要する方
 - ③重症化リスクがあり、新型コロナウイルス感染症の治療薬を投与または新型コロナウイルス感染症罹患による酸素投与が必要な方
 - ④妊婦
- なお、病院に入院をした場合は、引き続き病氣入院共済金のお支払い対象になります。

引き続き「みなし入院」の対象となるのは、重病化リスクの高い上記の方に限定されます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

ご理解よろしくお願いします。

こくみん共済coop(全労済)ホームページ <https://www.zenrosai.coop/coronavirus-2.html>



引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の徹底をお願いします!